

平成25年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立雀宮南小学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、「開かれた学校づくり」を推進し、学校の状況や児童の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって児童を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、平成25年度「全国学力・学習状況調査」における学習状況の概要について、以下のとおり公表します。調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを掲載します。

調査の概要

1 目的

- ア 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における、児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- イ 各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ウ 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査期日

平成25年4月24日（水）

3 調査対象

第6学年

4 本校の参加状況

① 国語A	75	人	国語B	75	人
② 算数A	75	人	算数B	75	人

5 留意事項

- (1) 本調査は、対象となる学年が限られており、実施教科が国語、算数の2教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部分であることに留意することが必要となる。
- (2) 本校の課題を明らかにするため、結果の概要及び本校の傾向と課題・改善のポイントなどを記載した。

Ⅱ 調査結果の概要

1 国語

全体的な傾向

- ・国語 A(知識)の平均正答率は市平均とほぼ同じで、県平均・全国平均より高い。「話すこと・聞くこと」は全国・県・市平均を大きく上回っており、市平均より 11.1 ポイント高い。
- ・国語 B(活用)の平均正答率は県平均を上回っている。「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、全国・県・市平均を大きく上回っており、全国平均より 5.5 ポイント高い。

国語に関する児童質問紙調査の状況

●…課題があるもの

《傾向》

- 国語に関するすべての質問において、肯定的な回答の割合は全国平均と比べて高い。
- 「国語の勉強は好き」と回答している児童の割合は、全国平均と比べて特に高く、また「将来役に立つ」と回答している児童の割合は 100%に達している。

指導改善のポイント

【話すこと・聞くこと】

- ・事実と感想、意見を区別して説明する活動を計画的に取り入れる。
- ・話す聞くポイントの合言葉をもとに、日常的に話す聞く態度を育成する。

【書くこと】

- ・本、資料、パンフレットなどを参考にしながら、事実と意見を分けて書くよう意識づけた指導を行う。

【読むこと】

- ・様々な文書を比較して読み、文章の構成、表現、書き方について意識づける言語活動を取り入れる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・漢字を正確に読み書きできるようにするために、ドリル学習の量を確保し、繰り返し学習を行い、意識的に漢字を使用できるように日常的な指導を行う。

2 算数

全体的な傾向

- ・算数 A(知識)の平均正答率は、全国・県平均を上回っている。
- ・算数 B(活用)の平均正答率は、全国・県・市平均を上回っており、特に数と計算領域は県平均を 6.6 ポイント上回っている。

算数に関する児童質問紙調査の状況

●…課題があるもの

≪傾向≫

- 「算数の勉強は好き」と回答した児童は、全国平均を 5.8 ポイント上回っている。
- 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童は 97.3%で、全国平均を 8.5 ポイント上回っている。

指導改善のポイント

【数と計算】

- ・四捨五入の指導に当たっては、数直線において範囲を考える過程を大切にしている。

【量と測定】

- ・1 a (アール)の面積について理解を深めるために、校庭や体育館を使って実際の広さや正方形の一边の長さを実感させるようにする。

【図形】

- ・円周の長さを求める式はどのようにして導き出されるか時間を確保して指導するようにする。

【数量関係】

- ・百分率では、比較的容易な 50%などの基本を押さえ、120%のような基準量を超える場合について意識的に指導する時間を確保する。

3 児童質問紙調査

●…課題があるもの

≪傾向≫

- 「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」「家で学校の授業を復習していますか」という質問に対する肯定的回答の割合は、全国平均を 15 ポイント以上上回っている。
- 「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という質問に対する肯定的回答の割合は、全国平均を 17.5 ポイント、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」という質問に対する肯定的回答の割合は、全国平均を 22.7 ポイント上回っている。また、「地域の大人から褒められたことがありますか」という質問に対する肯定的回答の割合は、全国平均を 11.9 ポイント上回っている。
- 「学校のきまりを守っていますか」という質問に対する肯定的回答の割合も、全国平均を上回っている。
- 「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか」という質問に対する肯定的回答の割合は、全国平均よりやや低い。